

経営比較分析表（令和6年度決算）

山形県地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院（法人内診療所含む）

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	500床以上	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	27	対象	透I未訓ガ	救臨が感へ災地
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	55,912	非該当	非該当	7：1

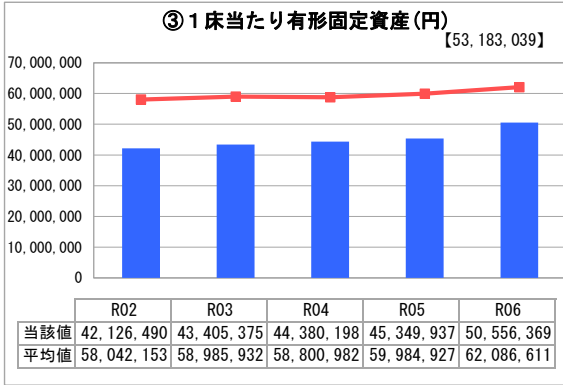
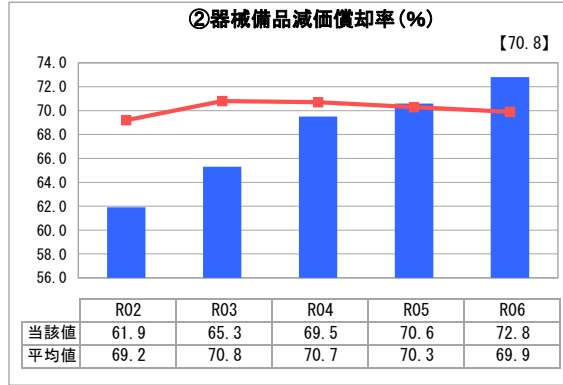
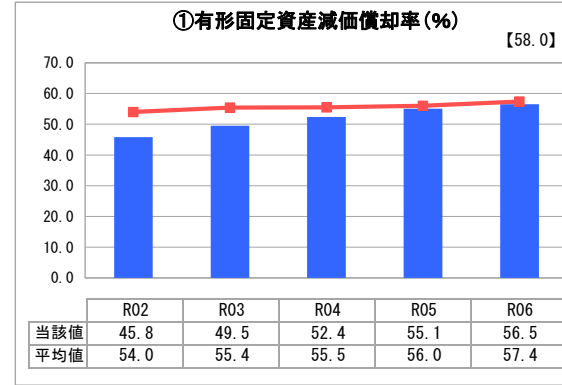
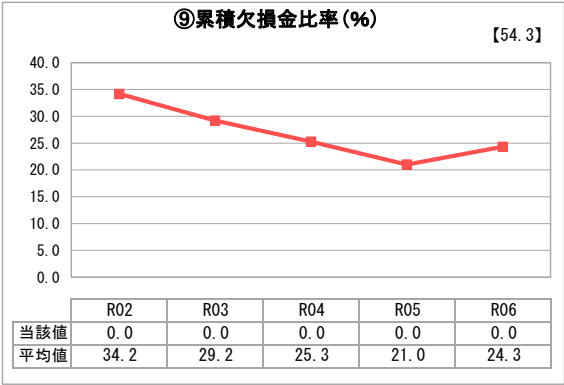
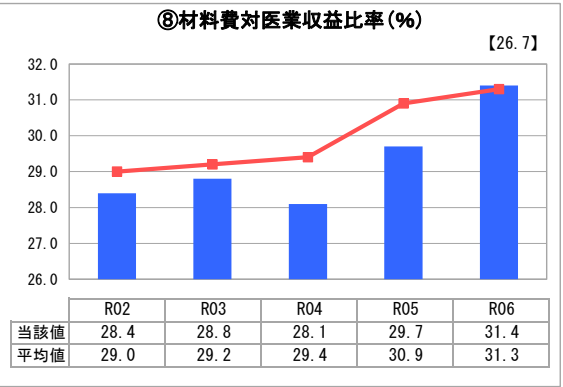
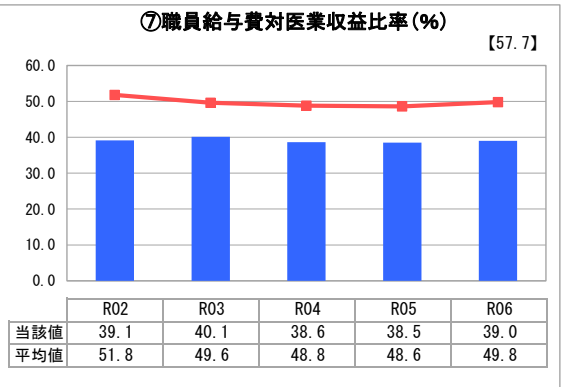
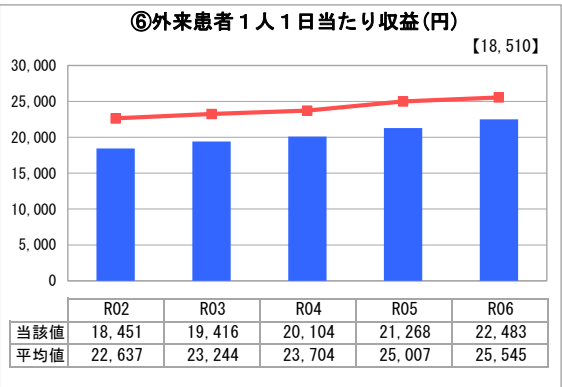
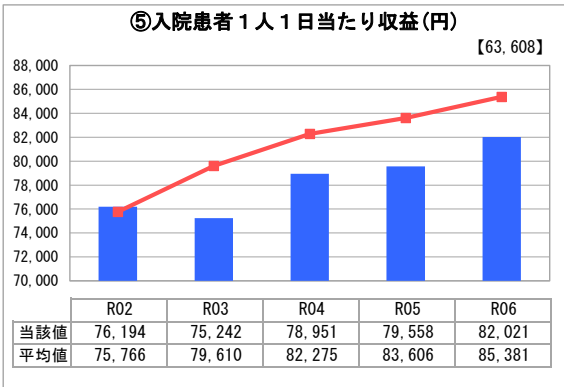
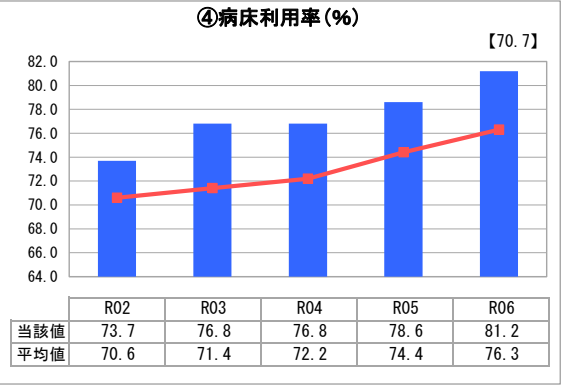
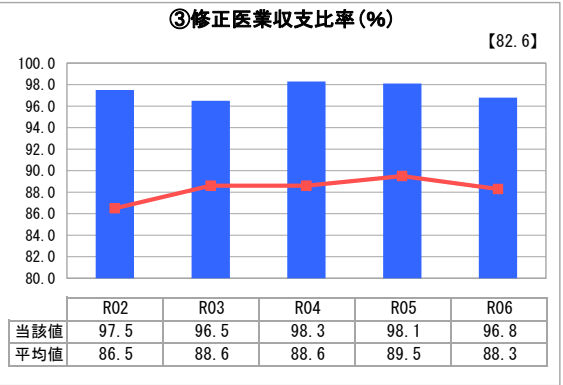
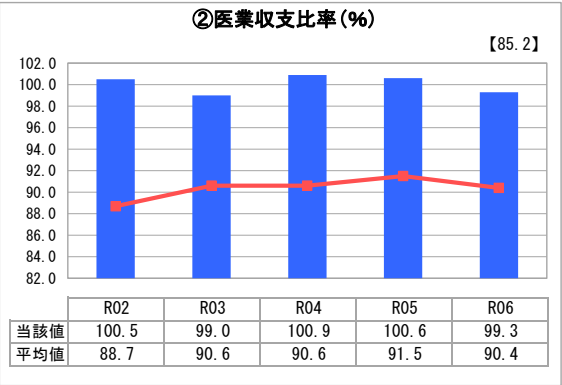
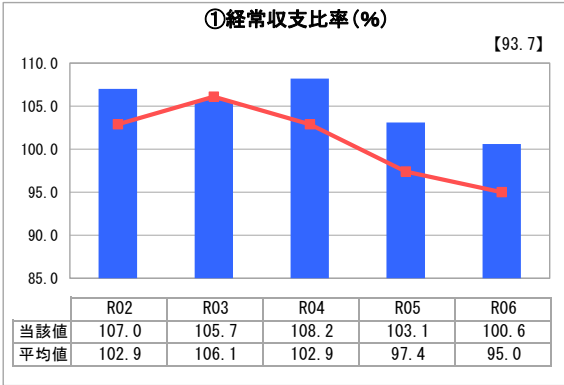
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
586	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	4	590
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般＋療養）
568	-	568

グラフ凡例
■ 当該病院値（当該値）
— 類似病院平均値（平均値）
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の両側・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
平成29年度	平成20年度	-年度

I 地域において担っている役割

日本海総合病院は庄内二次医療圏の中核的な医療機関として、ハイブリッド手術室の活用、ロボット支援手術や放射線治療の充実等、急性期医療及び高度専門医療を提供する役割を担っている。
また、平成30年度から酒田市より移管統合された日本海八幡クリニック等6つの診療所の効率的かつ効果的な業務運営を担っている。
さらには、地域の医療機関等との連携を一層推進するため、地域医療連携推進法人「日本海ヘルスケアネット」への参画等を通して、積極的に地域医療構想の実現と地域包括ケアシステムの構築に資する役割を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①は、中期計画の目標値「100%以上」を維持している。
②及び③は、入院、外来ともに診療単価が増加し、医業収益は増収となった一方で、医業費用は給与費、材料費を中心にそれ以上に増加したため低下した。
④は、上昇したが、病床削減による病床数の減少によるもので、入院患者数自体は減少した。
⑤及び⑥は、入院、外来ともに増加したが、類似病院の平均を下回っている状況が続いている。
⑦は、給与表のプラス改定、新たな手当の支給等により給与費が大きく増加した。
⑧は、医業収益は増加しましたが、材料費がそれ以上に増加したため、比率は上昇した。
⑨は、黒字を達成したため累積欠損金は発生しなかった。

2. 老朽化の状況について

①は、建物の増築工事完了から10年以上が経過し、類似病院の平均に近づいてきた。
②は、器械備品減価償却率は、直近でも医療機器の整備は行っているものの、過去に大規模な費用を要して整備した医療機器の償却が進んだため比率が上昇し、類似病院の平均を超える値となった。
③は、引き続き類似病院の平均に比べて低い水準。

全体総括

令和6年度は、「地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構第5期中期計画」の初年度に当たり、中期計画において取り組んでいくこととされていた事業計画及び財務計画の目標を着実に実施した一方で、法人全体では地独移行後としては初めての赤字計上となった。
日本海総合病院、酒田リハビリテーション病院及び診療所においては、今後さらに、連携と機能分化を図りながら、それぞれの医療機関としての役割を遂行していく。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。